

平和が丘防災タイムズ 第11号 <2012.2.11>

平和が丘学区防災・地震対策委員会

立春を過ぎて春の明るさを感じるようになりましたが、学区の皆様にはご健勝のことと存じます。東日本大震災の被災地には、まだまだ息の長い援助が必要であると報じられています。一日も早い復興・復旧を祈るしだいです。

年が改まって最近の防災・地震対策関係の活動状況を報告します。

1. 初の地域密着型防災訓練が行われました

昨年(2011)の12月11日(土)、平和が丘2丁目の正敬寺駐車場で、2丁目自主防災会が中心となって地域密着型防災訓練が実施されました。当日は、名東消防署をはじめ学区消防団等のご指導を頂きながら、総勢約100余名の方々が参加され計画通りに行うことができました。

地域密着型防災訓練とは、大災害を想定した総合的な訓練で、この訓練を通して防災力をさらに向上させていこうとするものです。今回の訓練は、名東区内では初めてで、その意味でも注目されました。

2丁目の皆さん方には、寒い中をご協力頂きまして大変ありがとうございました。

次にその概要を報告します。

訓練は、地震の発生と同時に被害が出たと想定し、ただちに災害本部を立ちあげ、消防団による避難の呼び掛けと避難行動の開始並びに在宅者の安否確認、救護者の救出などを自治会長、組長等の連携で速やかに行うものでした。数字上で見た活動内容は次のようです。

◆ 災害対応訓練内容

項目	発生場所	受付時間	対応班	出動時間	終了時間	対応人数	コメント
・歩行困難者の救出避難	176番地	10:14	避難誘導	10:16	10:19	4名	・リヤカー、救急箱 ・足、腕骨折者2名
・家屋火災の消火活動	171番地	10:37	消火	10:38	10:50	37名	・消火器、バケツ ・避難者も参加
・家屋倒壊の下敷者救出搬送	69番地	10:59	救出救護	11:00	11:15	7名	・ジャッキ、担架 ・柱をジャッキで持上

注 ①災害発生は組長が自宅避難者の安否確認中に発見→情報班→指揮官へ通報。

②実施要領は名東消防署、消防団の指導を受け実施。

◆ 安否確認実施状況

項目	計画内容	実施内容(避難者、自宅避難者含む)				コメント
		参加数	不在数	合計	比率/平均	
・実施組数	17組	16組	1組	17組	94%	・安否確認は時間内終了 ・新たに16世帯追加
・実施世帯	203世帯	173世帯	47世帯	220世帯	85%	
・参加人数	588名	615名	—	—	104%	
・避難者参加数	50名	81名	—	—	162%	
・安否確認時間	時間/世帯	79世帯	2.1分~8.8分/1世帯		3.5分	・17組中7組抽出した平均

注 ・避難場所へ避難して来た世帯は参加世帯にカウント。

<裏面に続く>

総括として予想以上の方が参加され、避難行動の開始や在宅者の安否確認等全体としては計画通りに行われ成功であった。防災あんしん調査票も有効に活用され自主防災力の向上に役立った。

しかし、個々の内容では幾つかの反省と課題が残された。待ち時間の対応などの行動指針や、歩行困難者や倒壊家屋からの救助活動等々である。各係はそれぞれ役割を持つが、中でも情報班には素早い対応が必要とされる。迅速な避難と安否確認、そして救出救護と避難所の適切な運営が組織に求められるが、それらを支える理念は自助、共助、公助であると言われていています。

2. 平和が丘住宅、日車マンション合同の自主防災訓練が行われました。

昨年の12月4日(日) 東邦高校で実施 39名参加 AEDの扱い方だけに絞った訓練でした。

☆☆違法駐車地域パトロール☆☆

昨年の6月から11月まで違法駐車地域パトロールを実施しました。

名東区役所、名東警察署、名東土木事務所、名東消防署、市啓発員等の協力の下、我が学区から有志が参加し、総勢16~17名で、毎月一回路上駐車車両に啓発書を車上に挟んで、注意を喚起しました。これ以外に市啓発員により毎月一回同様なパトロールが実施されました。

この結果、放置車両や路上駐車車両が一部で無くなり、それなりの効果があったと自負しています。また、その行動を見かけた学区住民からはエールをいただきました。炎天下の時もあり、ともに参加いただいた学区の方々はこの場にて御礼申し上げます。

なお、この件に関し、去る2月8日(水)に開催されました『名古屋市交通安全市民大会』において、名古屋市長表彰を受けました。(文責:河村庫夫)

☆☆恒例の年末夜間パトロール☆☆

去る12月30日(金)に恒例の年末夜間パトロールが行われました。各自治会から総計30名ほどが午後7時にコミセンに集合し、4班を編成し、帽子、腕章、タスキなどを着用して、各々の地域を40~50分かけて、拍子木を打ち鳴らしつつ、地域住民に防火、防犯を啓発しました。パトロール地域内では取り立てて不審な点は見かけられませんでした。

一方、学区の消防団は同時刻にパトロール車でもって、巡回を行いました。

その後コミセンに再集合して、午後8時20分頃に消防団詰所前にて、名東消防署長の訓示を拝聴した後、コミセン大会議室に入り、今年の反省会を開催した。消防団および参加諸氏の一年間のご苦勞を謝しつつ、約一時間和気あいあいのうちに互いの交流を深めました。(文責:河村庫夫)

◆佐藤弘氏 東日本大震災に学ぶ研究会にシンポジストとして出演

2月11日(土)に愛知東邦大学主催で行われた震災をテーマ(「東日本大震災から学ぶ巨大地震への備え」)にした研究会に、当委員会事務局長の佐藤弘氏(平和が丘住宅)がシンポジストとして出席され、地域防災のあり方と現状について所見を述べられました。(自治会掲示板にポスター掲示済)

<編集後記>今年の成人式は、平和が丘小学校の体育館が耐震化工事のためコミセンで行われました。関係者の協力で華やかに二十歳の門出をお祝いすることができました。成人おめでとう!!(編集 高木)